



カトリック町田教会  
町田市中町 3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512

いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



だから、何を食べようか、何を飲もうかと求めたり、思い煩ってはならない。……あなた方の父は、あなた方がこれらのものを必要としていることを知っておられる。むしろ、あなた方はただ、父の国を求めなさい。そうすれば、これらのものも加えて、あなた方に与えられる。  
ルカ 12・29-31

移動させられる植物

主任司祭 小池 亮 太

澄んで高くなった空に、刷毛で掃いたような雲がたなびき、爽やかな風が心地よい季節になりました。

熱気と湿気を含む重たい風が吹いていた夏の間、祭壇の前には鉢植えの植物が置かれていました。切り花は、すぐに萎れてしまうからです。しかし、減んだ空気と光の足りない聖堂に置かれると、鉢植えの植物も調子を崩してしま

います。それも当然のことでしょう。なぜなら、自然界において植物は根を張った場所から移動することなどないからです。

けれど、人間の手によって、無理矢理移動させられてしまう植物もあります。プランターハンターと呼ばれる人たちは、世界中を駆け巡り、珍しい植物を見つけると、葉や枝を切り落としてから堀り上げ、根

を洗って消毒してから、まったく違う場所に運んで植え付けます。

私たちも花屋の店先に並べられた草花を買って帰りますが、それは日本のどこかのナーセリー(種苗場)で育てられ、運ばれてきたものです。そして、買ってきた植物を季節や気分によって、家の中を移動させたり、場所を入れ替えたりします。このような移動は植物にとって大きなストレスとなり、調子を崩してしまうことがよくあります。時には病気になるって、枯れることもあります。

司祭館の窓の外で日光を浴び、風に吹かれていたフラスゴムも、風が無く、日光も差し込まない祭壇の前に置かれてしばらくすると、葉が次々に落ち、新しい葉には茶色い斑点が出て、明らかに調子を崩し始めました。しかし、それは植物が新たに置かれた環境に適応するために必要な一つの段階でもあります。

自ら移動することのない植物と同じように、自分の意志で移動できる人間も、環境の変化によって、例えば、言語や食事、環境や設備などがまったく違う外国に行くと、たちまち体調を崩してしまうことがあります。それを経験した人は、その対策として食べ

慣れたものを持つて行ったりしますが、たとえ体調を崩しても、その場所に長く滞在しているうちに、何の問題もなく生活できるようになります。そして、人間にとって、身体とは切り離すことのできない心に関わる信仰や宗教も、新しい環境に広がるうとする時、様々な挑戦を受けます。まったく違う生活習慣や考え方、感性や世界観を持っている人が、そこに住んでいるからです。しかし、信仰や宗教も時が経つにつれて、新しい土地とそこに住む人々に少しずつ受け入れられ、根付いてゆきます。

どこに行こうとも私は私、どこに置かれたとしてもフラスゴムはフラスゴムである。言い訳ではないのですが……

運営委員会議長 安藤 康 弘

今年度の運営委員会も折り返し地点を過ぎ、次年度に向けて道を整えていく時期になりました。しかし振り返ってみると、アンケートは取ったものの、規約の改正関連以外は大きなテーマに着手できていないことに気づきます。

原因は二つあるように思います。一つは「誰でも安心して委員になれるような運営委員会を作ろう」と思い、「普

り続けます。それは、環境が変わって調子を崩したとしても、その存在を存在たらしめているものは変わらないからです。では、世界に広がっていったカトリックをカトリックたらしめているものとは何か? それはイエスが生きた時代と場所にあると同時に、決して変わることはないカトリック信仰の神髄として、カトリック教会が新たに根付いた場所と時代の中で見えてくるはずだ……。このようなことを思い巡らしていた時、台風で折れて飛ばされた多肉植物の小さな枝が、コンクリートの上のわずかな土に根付いて、新たな命として成長を始めているのを見つけたのでした。

通の人が普通に担えるレベル」で委員会運営を考えたところ、会議時間はせいぜい二時間が限度ではないだろうかという点です。

委員各自が、家庭や仕事に他の教会活動も両立させながら続けるとなると、これでも大変だったりします。

二つ目は、運営委員会の仕事である「教会としての意思決定」と「具体的運営の実行」を比較すると、後者に多くの

時間を割き、前者は議論する時間が足りないという点ではないでしょうか。

それでは、実行部分は現場にまかせ、教会のビジョンの話し合いに専念しろ」と仰る方もおられるでしょうが、その「現場の人」はどこにいるのでしょうか？

今の町田教会は、委員さんのなり手」だけでなく、「現場の人」を探すだけでも大変です。結局はアイデアを出すだけではなく、運営委員みずから実行に関わる必要があるのです。

しかし、これだけの諸活動がある上に、クリスマスや復活、パーティーの時などは多くの方のご協力があって町田教会の活動が成り立っているのですから、皆さんの協力が「ない」わけでは決してないのです。ただ、さまざまの立場の人の要望ないしは要求度が高すぎるのかもしれない。一般の信者さんも、各委員の委員さんもお互いの頑張りや称える」とともに、「感謝する」ことが大事なのではないでしょうか。

かぎられた時間ではありませんが、運営委員会でも「若者が集う教会」というテーマで討議をおこなっています。現状の理解、原因の究明を踏まえ、意見交換をおこなっ

ています。ただ話し合うだけでは解決はしない」という意見もあるでしょうが、簡単に打開策が出るような問題ではないと思いますので、この問題についても、継続して話し合っていきたいと思えます。

田澤 三郎

今日は、9月16日月曜日敬老の日にこの原稿を書いています。外は大型の台風がきています。今年の夏は酷暑続きで9月になれば涼しくなるだろう思っていました。まだまだ暑さは続いています。

ところで、教会の会計年度は1月〜12月です。6月末時点で中間決算があり、内部監査が行われました。今年度上半期監査結果は処理に問題はなく、予算と実績の対比についても全体では問題はありませんでした。ただ、献金収入を昨年実績と比較すると、月定献金およびミサ献金がやや減少という結果でした。また、支出面では、宣教司牧費・特別献金（一粒会、児童福祉の日、四旬節愛の献金など全10件）・本部献金・維持管理費は対予算比・前年比共に大差はありませんでしたが、事務運営費の中で消耗品費がやや予算オーバーでした。財務委員会は6名で構成さ

# イソポ 使徒聖ヤコブと富士の聖母

## カトリック町田教会の保護聖人 聖ヤコブ(ゼベタイの子)と富士の聖母像をイソポ(池水)



St. James the Apostle Catholic Church  
 聖ヤコブ(神は守られる) × マーク・エールの短縮形 Santiago  
 サンティアゴ(スペイン語) 山(サン・ジャック) 独(ザンクト・ヤコブ) 英(セント・ジェイムズ) 茶(サクレ・タ)

イソポ attribute (持物) 貝殻(ホタテ貝) 巡礼杖など

なぜシンボル? 聖ヤコブの遺体を運ぶ船の底に貝殻がついていた 聖ヤコブが漁師だったから 昔は貝殻を托鉢(たくはつ)

10月12日を中心に祝日(柱の祝日) ラス・フェスタス・デ・サンティアゴ

スペイン最大の聖母の巡礼地 エストラ・セニョーラ・デ・パルマ 聖堂

サンティアゴ・デ・コンポステーラの大聖堂 聖ヤコブの遺骸が祭られていた Campus Stellae(星の野)(祭場) ラテン語(広い場所)

Basilica 建築様式、又特別な聖堂の装飾

☆神がヨハネにおん母をゆだねられた! 熱意に燃えたいヤコブと弟ヨハネに「雷の子」(ボアネレグス) という名をお与えになった... (マルコ 3:17) 激しい性格

☆イエスの変容 聖ヨハネは弟 主の恩寵・プレゼント...の意味

聖フランシスコ・ザビエルが生まれたザビエル城の石 ベルリカの壁の石

背後の壁に(ニカ所) 40数ヶ国から送られた宝石、石が埋め込まれている

1963年 8月24日戦争中山中湖畔に疎開し戦禍を免れた感謝と世界の子供達の幸せと平和を願って小さなマリア像を安置

1965年に世界平和と世界中の子供たちの幸せを熱望する人々の心に響いて大きな聖母像が10月7日に建立!

イソポの聖母の記念日

創業者 ドン・ボスコ (1813年) 聖母教育とキリストの愛を伝えたため世界130以上の国で働くカトリック修道会

柔和愛情深い 受け継ぐ

先代は大分に安置 創業者 マリア・マゼロ

サレジオ会 本部から寄贈

サレジオ・シスターズ サレジオ会の姉妹会「扶幼者聖母会」



イソポ(池水) → 聖ヤコブの貝 (Coquille Saint-Jacques) コキヌ・サン・ジャック

れ、教会の経理業務を行って  
おります。収支処理業務は待  
ったなしの仕事で、各担当が  
決められた仕事を期限までに  
きちんと行うことで成り立っ  
ています。また、月一回定例  
の財務委員会が主任司祭同席  
で行われます。この会議で月  
例業務の進捗と台帳内容が確  
認されます。なお、会計処理  
は東京教区のマニュアルに沿  
って行われ決算報告が行われ  
ます。

今年も恒例の東京教区財務  
担当者会議が9月14日(土)  
に閉口のカテドラルで行われ  
ました。各教会から司祭、財  
務担当者が百名以上集まりま  
した。

冒頭の挨拶で、高木神父(カ  
トリック東京大司教区法人事  
務部長)は、お金についてカ  
トリック教会は普段あまり話  
題にしないが、軽視するとか  
後回しにする問題とは決して  
考えているわけではなく、教  
会維持発展のために欠くこと  
のできないものとして丁寧に  
考え扱うようにと、13世紀の  
神学者トマス・アクイナスの  
学問のひとつを例えに話され  
ました。また、職員の方から  
は、法律に沿った経理処理に  
ついていくつか話がありました。

この記事が「雷の子」に掲  
載される10月頃には、今年度

の決算の準備が始まります。  
また決算と同時に来年度の予  
算編成も行われます。予算は  
従来の内容を参考に主任司  
祭・運営委員会・施設管理委  
員会からの意見・要望を考慮  
した上で予算案が作成され、  
総会の場で承認となった時点  
で完成です。財務管理の業務  
は全て、教区のガイドライン  
と、教会が長年培ってきた伝  
統に沿って淡々と行われてい  
ます。

最後に、町田教会は戦後ゼ  
ロから始まり、諸先輩と司祭  
の努力とケルン教会などの援  
助で献堂された初代の町田教  
会が実現し、その後の発展と  
合わせて新聖堂が献堂されて  
今に至っています。その後、  
数年で借入金返済されました  
が、財務面では、運営費・  
宣教司牧費・施設管理費など  
の必要な費用があり、場合に  
よっては費用の増加が考えら  
れます。今の教会の礎を築い  
た諸先輩の志を受け継ぎ、ま  
た築かれた教会の維持・発展  
の継続を願う意味から、月定  
献金などによるご支援は引き  
続きよろしくお願いいたしま  
す。

岡田大司教指導による  
黙想会に参加して

7月26日(金)汚れなきマ

リア修道会で、岡田大司教ご  
指導によるウエルカム・テー  
ブル主催の黙想会が開かれ、  
30名を超える参加者で賑わっ  
た。

大司教を黙想会の指導に町  
田にまでお招きするというこ  
とは、村松さん始め世話役の  
方々の並々ならぬご苦労があ  
ったと思われる。感謝申し上  
げたい。

東京カテドラルのミサに与  
ると、大司教の座カテドラは  
内陣の遙か奥にあるので、普  
段は近づきたい方でいらっ  
しやる。

講話は聖堂で行われたが、  
マイクが使えなかったので、

椅子を大司教の机間近まで近  
づけてお話を伺った。

午前中の講話は、モーセと  
エリヤを引き合いに出され、  
旧約で予言されたイエス・キ  
リストは新約でどう伝えられ  
ているか、というテーマ。午  
後はキリスト者が現代社会の  
さまざまな課題特に平和問題  
にどう向き合っていくかにつ  
いて、教皇回勅、日本司教団  
の声明等を基に話された。

懇談会では、憲法問題につ  
いて大司教が「赤旗」紙のイ  
ンタビューに応じられ、それ  
が励みになっていることや、  
一方司祭の減少等、教会の危  
機等も話題が上がった。

### ワンポイント聖書



(193)

前島 誠

話が前後してしまっただ。  
場面をもう一度、空襲下の教会に戻して、  
お話しすることにしよう。

当時、日曜のミサに出席する信徒の数は、  
戦争が進むにつれて少しずつ減少していっ  
たと記憶する。それでも熱心な人たちは平  
時と変わらず、終日も暗いうちに起床して、  
ミサに与るのを常としていた。

ある朝、私は自宅の前で、へいごま作り  
に夢中になっていた。そこへ防空頭巾を被  
った少年が通りかかった。ユタカだった。

「こんなに早く、どこへ行ったんだ？」  
「教会だよ。ミサ答えをしてきたんだ」  
(初めて気がついた) そうか、ミサは毎  
日あるんだ)

日曜日のミサ答えにしが気づかずには  
自分の愚かさが、たまらなく恥ずかしく、  
ちっばけなものに思えてきた。

「オレも ミサ答えに、行ってもいいか  
な……？」  
「もちろんだよ！……明日からいっしょ  
に行こうよ」

翌日から、ミサ答えの少年は、一人ふえ  
て二人になった。

当時、主任司祭は盛岡出身の下山神父。  
外出時に空襲にぶつかると、危険を顧みず、  
どこにいても走って教会(大森)まで帰っ  
てくる。その姿が我々信徒には実に格好よ  
く目に映った。

思えばあの時代が懐かしい。



聖母の被昇天

八月十五日

最後に司教（大司教を含めて）を喜ばせるにはどうすればよいか、が話題となり、それには自分の司祭たちが信徒にいかん感謝されているかを知ることだと言われ、笑いと拍手の内に席を立たれた。

エリヤの話（列王記上18）をされたとき、ご自分の経験と重ね合わせてあるエピソードを披露された。それが岡田大司教のお人柄を偲ばせているようで、印象に残った。

王妃に唆されて主への信仰を捨て、異教の神バアルに傾倒するイスラエルの王アハブの治世下、エリヤはどちらの神が本当の神かを巡って、ただ独りバアルの予言者450人と争って勝った。しかし王妃に命を狙われて逃亡の途中、神に祈って言った。「主よ、もう十分です。わたしの命を取ってください」と。

大司教が初めて主任司祭になった教会で、子供たちを連れてキャンプに行ったときのこと、最終日の夜バンガローから火が出て、一人が逃げ遅れて大怪我をするという事故が起きた。当時の岡田新米司祭は一晚警察のご厄介となった。その時このエリヤの祈りをわが身に置き換えて思い起こされた、という。しかも一週間後の主日に読まれたのが奇しくもこの箇所。そういう



訳で、私にとって大変印象深い箇所である、というお話だった。

**2013年 教会バザー**  
**「ひとつになろう」**

●日時: 10月27日(日) 第2ミサ後~14時頃  
●会場: カトリック町田教会

今年、地域ブロック連絡会から地区の有志が集まって、バザーの準備を進めています。今年度は出店する地区、サポートスタッフとして参加する地区など、参加の仕方も様々です。一人一人が無理をする事なく、皆で分かち合い、喜びに変えていけたら...、お互いをもっと知り、さらに親交⇒信仰を深めて町田教会に集う皆様と共に「ひとつになろう」と、テーマをかがめました。

皆様のたくさんの笑顔をお待ちしております。

バザー実行委員会



被爆体験を聞く会  
(8月4日)

「口も目も腫れあがって開くこともできない。これはもう地獄だな...」小学6年生で被爆したときの生々しい体験を語る深堀寛治さん。

「雷の子」次号編集会議予定  
11月3日(日) 09時30分  
於会議室

犠牲献金	
中高生会	
7月21日	10,477円 (ペロニカ苑へ)
8月11日	8,325円 (ペロニカ苑へ)
9月8日	9,127円 (ペロニカ苑へ)



**夏期学校**

今年の夏期学校は8月2、3日、青梅市御岳山でおこなわれました。参加者は小学生8人、リーダーと主任司祭合わせて7人、総勢15人。

1泊2日という短い日程ではありましたが、登山、ゲーム、キャンドルサービス、ハイキング等で、皆楽しく過ごしました。  
(島田和人)

~~~~~  
**信 者 動 静**  
~~~~~

2013年7~9月  
(個人情報のため、削除しています)